

世界でひとつだけの岩石標本を作ろう～サイエンスアゴラでジオPR～ Let's making the only my rock specimens -Promoting in SCIENCEAGORA-

関谷 友彦^{1*}

Tomohiko Sekiya^{1*}

¹ 関谷 友彦

¹sekiya tomohiko

はじめに

2012年11月に日本科学未来館で開催されたサイエンスアゴラの島原半島世界ジオパークブースにおいて下仁田ジオパークと共同でジオパークのPRをしましたので、ここに報告します。

本発表では、サイエンスアゴラについての情報から当日のPR状況などについて紹介し、2013年度サイエンスアゴラでは、もっと多くの地域がPRに参加しジオパークブースを盛り上げたいという提案をしたいと思います。

尚、島原半島世界ジオパークの大野希一さん、雲仙岳災害記念館の徳永喜三男さん、JGN事務局田上順一さんには、出展企画から当日の運営においてなどだけでなく、下仁田ジオパークのPRする機会を与えていただきましたことをこの場を借りてお礼申し上げます。

サイエンスアゴラ 2012～見つけよう あなたと「科学」のおつきあい～

サイエンスアゴラは、独立行政法人科学技術振興機構（JST）主催で、科学コミュニケーションの実践の広場として、科学技術を活用してよりよい社会を実現するための方策を多角的に論じ合うための複合イベントです。2012年度は、（1）科学への理解や楽しさを「伝える」とともに豊かな社会を「作る」へ広げる（2）科学コミュニケーション実践者の交流促進と新たな連携による活性化 を方針として開催されました。

2012年11月10日、11日に日本科学未来館ほか周辺施設で開催され、全国各地の191の団体が参加し、来場者4012人に科学の楽しさを伝えました。

ジオパーク PR 内容

「世界に一つだけの岩石標本作成～ジオパークを楽しもう」と題して、各地域で採取できる数cm角の岩石標本をオリジナルの岩石シートに貼り付けて実習参加者に持ち帰ってもらう企画を行い1日目は島原半島のみ、2日目は島原半島、下仁田の2箇所から選択できるようにしました。

1回の岩石シート作成に約30分取り、それぞれの地域の代表者が、シートに貼り付ける岩石について、どういう場所でとれるのか、その石にどのような意味があるかなどをスライドを使って説明をしながら、作りました。一回の作成には、スペースと人員の都合上5～6人とし、事前予約制としましたが、大好評で、午後の初めには、当初計画していた夕方までのプログラムの予約券がすべて売れました。

また、実習中には大勢のギャラリーができて、それぞれの紹介パンフレットを配布したり、販売ブースでは島原半島世界ジオパークのグッズなどを売り、大いにジオパークをPRすることができ、さらにはサイエンスアゴラ賞をいただくことができました。

サイエンスアゴラ 2013に参加しよう

来場者のアンケートの集計結果より、「イベントに再び参加してみたい」「自然科学や科学技術に興味がある」という人がアンケート回答者の50%を超えており、比較的意欲の高い人が集まっています。また、首都圏の普段からあまり自然に触れ合っていない親子をターゲットに、ジオパークのPRをすることは、大きな集客効果につながると考えます。

今回1地域でなく、2地域参加したこととで、両方の岩石標本を作りたいというリピーターもいました。

上述したようにサイエンスアゴラにおけるジオパークPRはとても有効でさらにブース出展料が無料のイベントです。2013年は、下仁田、島原両地域でブースを出展する予定です。（2013年5月募集1次〆切）サイエンスアゴラ賞を頂いたこともあるので、岩石標本作成という企画は変えませんが、そこにほかのジオパークも加われればとても盛り上げることができます。ジオパークネットワークの力を結集して、サイエンスアゴラを盛り上げましょう。

キーワード: ジオパーク, 科学コミュニケーション, 地学教育

Keywords: geopark, science communication, education of Earth Science